

授業科目名 <英訳>		医学コミュニケーション演習 Applied Medical Communication			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 岩隈 美穂				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	木4	授業 形態	演習	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
コースの概要 前期前半の医学コミュニケーション(基礎)を基に、後半は「～からみた医学」シリーズで医学を多角的に検討する。											
[到達目標]											
学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること） 前期前半の医学コミュニケーション・基礎の内容をさらに具体的に深める。 医療・医学と社会との関係を理解する。 コミュニケーションが医学・医療に果たす役割について理解する。 自分の研究テーマを明確にし、研究計画書を作成する。											
[授業計画と内容]											
1 10/1 イントロダクション・コミュニケーションからみた医療 1 2 10/8 コミュニケーションからみた医療 2 3 10/15 死生学からみた医療（佐藤泰子氏 京都大学） 4 10/22 コミュニケーションデザインとeヘルス 1 5 10/29 コミュニケーションデザインとeヘルス 2 6 11/5 ライフスパンとコミュニケーション 7 11/12 異職種教育（IPE）： 医・看・薬間コミュニケーション（酒井郁子氏 千葉大学） 8 11/19 エイジングとコミュニケーション 9 11/26 障害学からみた医療 1 10 12/3 障害学からみた医療 2 11 12/10 宗教と医学の邂逅（大下大圓氏 飛騨千光寺） 12 12/17 エンハンスメントからみた医療 1 13 1/7 エンハンスメントからみた医療 2 14 1/14 学生によるプレゼンテーション 1 15 1/21 学生によるプレゼンテーション 2・クラスまとめ											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点（授業参加、授業態度を含む） 30% 2. レポート 50%											
----- 医学コミュニケーション演習(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

医学コミュニケーション演習(2)

タイトル (20%) + 最終レポート (30%)
3. レポート発表 20%

[教科書]

プリントを配布する

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

レポートは研究計画書の作成です

(その他 (オフィスアワー等))

医学「コミュニケーション」のクラスなので、課題テーマを決める際、「関係性、心理、つながり、コミュニティ、コミュニケーション、社会」などのキーワードが入ることが望ましい。

医療・医学への社会科学的アプローチに興味のある学生向け。

障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮 (Accommodation) が必要な場合、早めに相談に来ること。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 5名まで可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。